

今 治 市 生 ご み 減 量 推 進 計 画
(概 要 版)

平成 26 年 3 月

今 治 市
リサイクル推進課

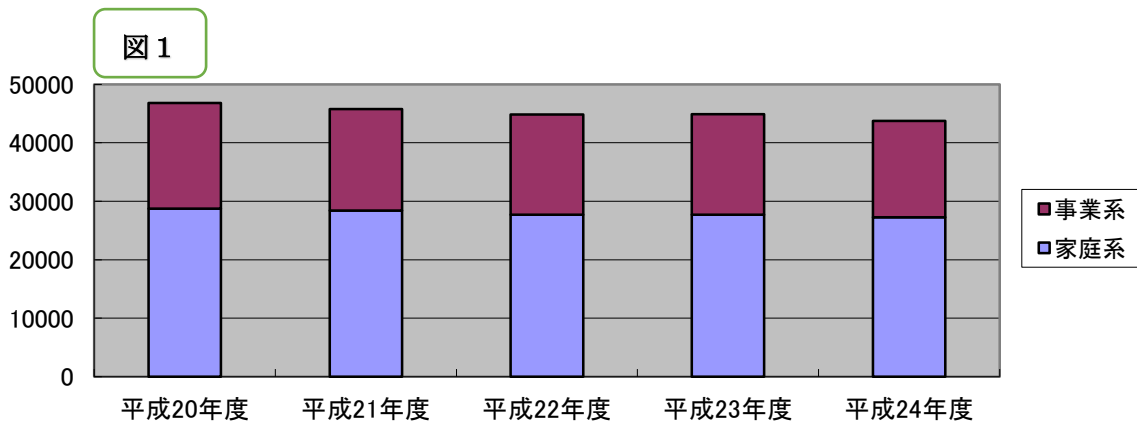
今治市生ごみ減量推進計画（概要版）

1. 今治市の生ごみ排出状況

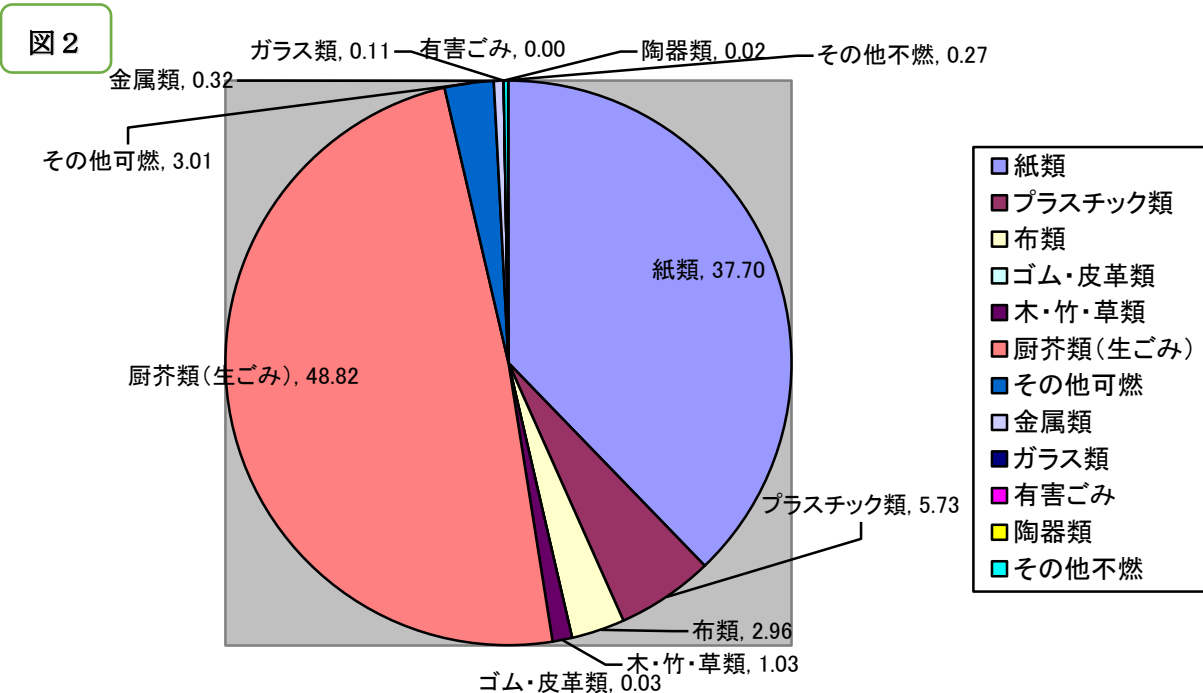
(1) 燃やせるごみにおける家庭系・事業系別排出量の推移

単位：ト ン

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
家庭系	28,747	28,390	27,717	27,709	27,272
事業系	18,082	17,407	17,149	17,181	16,482
計	46,829	45,797	44,866	44,890	43,755
家庭系比率	61.39%	61.99%	61.78%	61.73%	62.33%



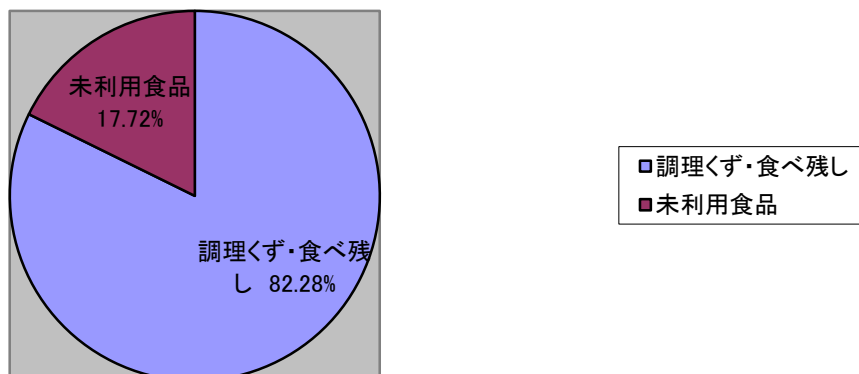
(2) 家庭から指定ごみ袋で排出される燃やせるごみの組成
(平成 22 年度 今治市調査)



(3) 家庭から排出される生ごみの分類

図3

家庭から排出される生ごみの分類



(1) ~ (3) のグラフから、今治市の燃やせるごみの量は、平成 20 年度から平成 24 年度の 5 年間で、緩やかな減少傾向にあることがわかります。

また、家庭から燃やせるごみの指定袋で排出されている内容を市で調査した結果、燃やせるごみの約 50%が厨芥類いわゆる生ごみとなっており、その生ごみのうち、約 18%が未利用のまま廃棄されている食料品となっています。

こうした資料をもとに、今治市で排出されている生ごみの排出量を市で推計した場合、平成 20 年度から平成 24 年度の 5 年間の平均排出量は、次の表のとおりとなります。

区 分	排出量 (t)
家庭から排出される生ごみ	13,220
事業所(店舗)から排出される生ごみ	4,539
計	17,759

推計される今治市の生ごみの約 17,759 トンは、平成 20 年度から 24 年度の 5 年間のごみの平均総排出量約 60,773 トンの約 30%を占めており、このことから生ごみの減量が、市のごみ減量を推進していく上での第一歩となります。

2. 今治市における生ごみ減量に関する課題

今治市で排出されている生ごみの約 70%が、家庭から指定ごみ袋に入れられて排出されています。このことから、家庭から排出される生ごみを減量していくことで、大幅なごみの減量に繋がります。

現在家庭から排出されている生ごみに関する課題は、次のとおりです。

(1) 生ごみの水分が十分切られていない。

生ごみ、特に調理くずとして排出されている野菜くず(きゅうり、たまねぎなど)は、

その 90%以上が水分で、そのまま生ごみとして排出されると、市は、ほとんど水分を処理

する状態となります。野菜くずは、それに含まれる水分量が 60%以下にならないと燃焼しないため、燃焼までにかかる燃料費などを考えると経済的ではありません。

また、食べ残しなどに含まれる水分は、悪臭のもとになり、カラスや猫に集積所を荒される原因の一つであると考えられています。

(2) 未利用で廃棄される食品が多い

家庭から排出されている生ごみを調査した結果、生ごみ全体の約 18%が未利用食品となっており、これは、家庭から排出されている生ごみの推計量 13,220 トンから推計すると、市民 1 人 1 年間で約 13 キログラムの未利用食品を廃棄していることとなります。

これは、例えると、コンビニエンスストアのおにぎりが 1 個約 100 グラムですので、市民 1 人が年間 130 個のおにぎりを食べずに廃棄していることとなります。

3. 今治市生ごみ減量推進計画

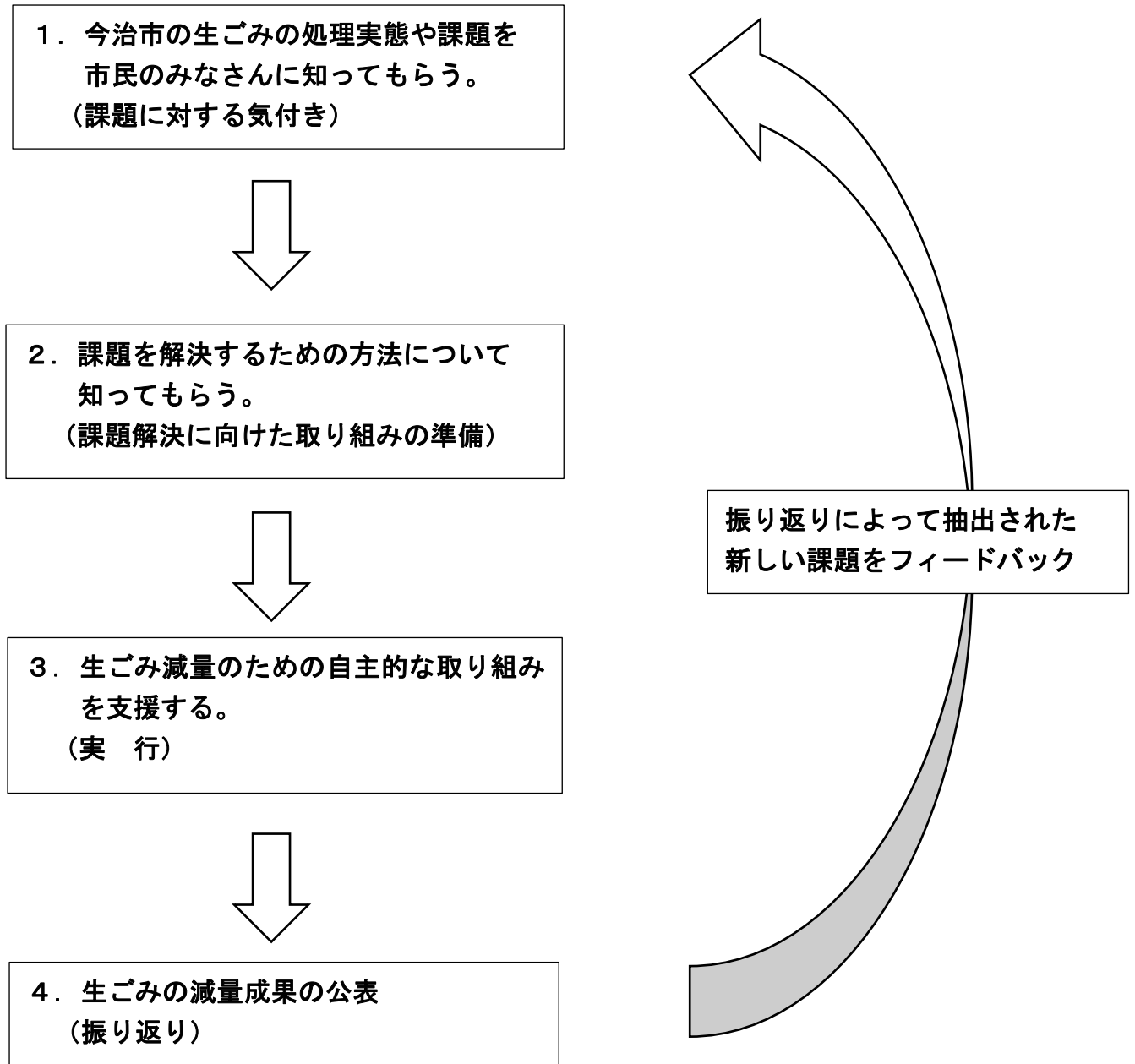
項 目	平成 22 年度 (推計値)	平成 24 年度 (推計値)	平成 28 年度 (目標値)	
家庭系生ごみ排出量 (t/年)	約 13,128	約 12,908	約 12,200	
			(平成 22 年度より 7%減量) (平成 24 年度より 5%減量)	
1 人 1 日排出量 (g/人・日)	212	212	200	12 g 減量
事業系生ごみ排出量 (t/年)	約 4,973	約 4,335	約 4,100	
			(平成 22 年度より 17%減量) (平成 24 年度より 5%減量)	
1 事業所 1 日排出量 (kg/事業所・日)	12.0	10.5	10.0	500 g 減量
今治市生ごみ排出量 (t/年)	約 18,101	約 17,243	約 16,300	
			(平成 22 年度より 10%減量) (平成 24 年度より 5%減量)	

上記の表のとおり、今治市における生ごみの減量目標を、家庭から排出される生ごみについては、平成 24 年度から平成 28 年度までに約 700 トン、市民 1 人 1 日当りの生ごみ排出量を 212 グラムから 200 グラムへ 12 グラム減量することとします。12 グラムとは、大さじ 1 杯分の水分を減量することで達成される数字です。

また、あわせて事業所（スーパー等小売店や飲食店）から排出される生ごみも 1 事業所 1 日当たり 500 グラムの減量を目指します。

4. 生ごみ減量のための取り組み

今治市生ごみ減量推進計画を進めていくため、市は、次の取り組みを実施していきます。



その他にも、事業所から排出される生ごみを減量するため、「事業所ごみの手引き」を作成配布したり、生ごみの減量に取り組む著しい成果を上げた事業所を「優良事業所」に認定する制度を導入します。